

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

119

専門家の役割は

新型コロナウイルス対策がわれわれの社会の最優先の課題となつて1年半以上がたつ。この間、政府は専門家と協力しながら対策を進めてきたが、両者の関係はこれまでつねにスムーズだったわけではない。4回にわたる緊急事態宣言や、オリピック開催方針などをめぐり、両者の見解の違いが国民にも見える場面があった。

コロナ対策は科学に



科学技術振興機構(JST) 研究開発戦略センター 特任フェロー 佐藤 靖

東京大学工学部航空宇宙工学科卒業。旧科学技術庁を経て米国ペンシルベニア大学大学院博士課程修了(科学史・科学社会学)。17年より新潟大学人文社会科学系教授。20年より現職を兼務。PhD。

政治と科学関係の高度化へ

答すればよいのであつた。役割分担は、特に政策を立案・決定 危機時には柔軟なものとするのはあくまで政府であつてよい。政府があるべきという指摘 迅速に諮問を行うのは限界があるし、不確 確固とした連携体制が 日本では、コロナ禍に備え政府と専門家の 必要は協働体制

基づくべきだが、今回は 専門家の姿勢が積極 的すぎるのではないかと いう批判もみられた。 本来、専門家は政 府から諮問されたこと に科学的な立場から応 だが、専門家と政府 の必要がある。 だが、専門家と政府 だけ正確に、早く伝え の緊張関係が強まった 場面でも、それがむし

る社会的議論を促し、 政策形成に反映された 場面もあった。 一方で、さまざまな 問題点があつたことも 明らかである。専門家 による情報発信の位置 づけが不明瞭で、混乱 難しかった。

いま求められるの は、今回のコロナ対応 の経験を踏まえ、危機 に対応できる政府と科 学の協働体制を整えて いくことである。科学 者と政府の関係を単線 的な関係で捉えるので なく、多様なアクター が柔軟に協働して市民 ・社会とともに政策形 成を進める仕組みが必要である。すなわち多 様な分野の科学者や、 政府・自治体・国際機 関などからなる科学 政策エコシステムの形 成が、わが国を含む各 国で重要な課題となつ ている。政治・行政と 科学の関係の高度化が 求められている。

(金曜日掲載)

